

お客様の信頼を得るために

基本的な考え方

お客様満足の実現とお客様からの信頼を得るために、品質の高い製品を供給しています。また、当社の技術力をPRし、お客様との関係を深めていくことに努めています。



お客様の信頼を得るために

お客様の信頼を得るためには、第一にお客様の要望を的確に把握することが求められます。お客様の気持ちに立ち、悩みを共有することによって、お客様の要望を満たすより良い提案ができるものと考えます。そのためには、日頃から新しい技術を学び専門知識を身につけ、かつスピード感を持ってお客様へ提案することが大切です。

第二には、お客様の要望をもとに、お客様が満足する品質の高い商品を提供することです。営業部門だけではなく工事部門や合材部門などと連携し、工事の契約から施工・引き渡しにいたるまで各工程でレビューを行い、会社としての創意工夫を実践しながら、品質の優れた商品をお客様へお届けすることこそ、信頼関係の構築につながると考えます。



自然災害への対応

2011年東日本大震災や、2015年関東・東北豪雨による鬼怒川災害、2016年熊本地震など自然災害では、ライフライン、特に緊急車両の通行や物資の補給のため、破壊された道路の迅速な復旧が求められます。また、店舗や工場の操業など市民生活や企業活動のいち早い再開には、社会インフラの早期の回復が必要です。そのためには、一足でも早いお客様へのアプローチが求められます。復旧工事を担う人員や材料・機械の手配など過去の大規模自然災害における経験や知識を活かし、当社の全国的な組織力を集結させることによって、お客様の復旧への一助になるよう、全力を尽くします。



熊本地震後の復旧作業の様子



私のCSR

関西支店 河野 圭吾

私の所属する舗装事業部技術グループでは、社内外から舗装に関する技術的な相談を受けたり、提案を求められます。その際はコストパフォーマンスだけでなく、中長期的に現場条件に見合った品質が確保されることを念頭において対応するようにしています。また、分かりやすい丁寧な説明となるようにも心掛けています。



お客様のニーズを捉えた商品の提供

当社が施工する施設は、一般道路や高速道路、空港の滑走路など公共インフラに限らず、民間企業の駐車場や工場など多岐にわたります。そのため、お客様が今求めている「ニーズ」をいち早く捉え、さらに付加価値の高い商品を提供することが重要です。

例えば「雨の日は水たまりのない道を歩きたい」「大型トラックの往来でも壊れない舗装にしたい」などのお客様の要望に対し、「透水性舗装」や「半たわみ性舗装」などの商品を提案するのではなく、「カラー」や「模様(石畳風など)」を施し、景観に配慮したバリエーション豊かな提案を加えることによって、お客様の選択肢が広がり、満足度の高い商品の提供につながると考えます。

また、2020年東京五輪に向けて東京都が推進する道路の温度抑制のニーズに対しては、「遮熱性舗装」の効果をしっかりとPRすることによって、貢献できると考えます。



半たわみ性舗装
「テラゾーポリシール」



「遮熱性舗装」(皇居前)



お客様からのお問い合わせ受け付け

ホームページでは「問い合わせフォーム」を設け、お客様からのご質問やご要望を受け付けています。

URL : <https://www.nippo-c.co.jp/>

従業員とのかかわり

当社では、従業員一人ひとりがやりがいのある職場をつくること、社会的信頼の維持・向上を図るため人権問題等に関する基本的事項を推進することをCSRの柱の一つとして位置づけ、「労働環境整備の推進」「健康増進(心とからだ)の推進」「高齢者・障害者雇用の推進」および「人権問題に関する啓発活動の推進」に取り組んでいます。また、能力開発、資質の向上のための従業員教育を充実させ、社会に誇れる従業員の育成を図ります。

労働環境整備の推進

■ 労働時間

昨今社会的に注目されている労働時間問題について、建設産業においては、天候等の自然環境や交通事情等により仕事の進捗状況や施工方法が左右され、労働時間が不規則となる傾向にあります。そのため、当社では、労使で構成する労働時間検討委員会にて対応策を検討・実施しています。2017年度より「働き方改革」プロジェクトを立ち上げて、今までの働き方を根本的に見直し、確実に法令を遵守できる体制を整えています。特に長時間労働問題に関して、休日の確保が当社の課題であり、総労働時間短縮のための重要な要素として認識しています。有給休暇取得推奨月間の設定、計画年休の設定等の施策も併せて実施し、継続して総労働時間の削減に取り組んでいます。

▶ 月平均時間外労働時間の推移

2014年度	2015年度	2016年度
25.3時間	25.1時間	24.6時間

▶ 平均有給休暇取得日数の推移

2014年度	2015年度	2016年度
5.38日	6.24日	6.39日

■ 住環境等

これまで建設現場における住環境は、事務所に併設されて

いる「現場宿舍」での集団生活が主流でしたが、従業員のプライベートの時間を確保しやすくし、仕事のオンとオフを明確にするために、「社宅制度」を充実させました。

その他の職場における問題についても、労使共通の認識を得られるよう各支店の労使懇談会等で話し合いの場を設け、より良い労働環境の実現に向けて努力しています。

健康増進(心とからだ)の推進

■ 健康診断

従業員の健康管理は、労働安全衛生法に則した定期健康診断を基本として、保健師の指導や本人が検査項目を選択できるオプション健診を取り入れ、きめ細かな健診が受けられるように配慮しています。健康障害防止対策として、定期健診受診率100%、再検受診率95%以上を目標としています。疾病の早期発見治療、疾病予防の観点から、健診結果に基づき、健康障害発生誘引者について職制・保健師でフォローを実施し、安全配慮義務に努めるとともに、従業員の自己保健義務意識の向上を図っています。

■ ストレスチェック

また、年に1回、全従業員を対象としたストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの実施は任意ですが、メンタルヘルス不調の未然防止のために積極的に受検をするよう指導しています。ストレスチェックにより職場ごとの集団分析を実施することで、分析結果をもとに職場環境の改善につなげています。

▶ ストレスチェックの実施状況

	対象者数	実施率	高ストレス者率
2016年度	3,179人	81.2%	6.5%

※対象者は従業員(臨時含む)および派遣社員を含む

■ 健康増進イベントの実施

年に1回、健康づくり事業の一環として、NIPPO健康保険組合と合同で従業員参加型のウォーキングイベントを実施し

基本的な考え方

従業員は企業活動の基盤であり従業員の働きがいや成長なくして企業の成長はない、という認識に基づき、全ての従業員がその能力を十分に発揮できる職場づくりや人材育成に取り組んでいます。

ています。従事する事業所ごとに歩数を競うことで、健康増進への意識を向上させると同時に、上位事業所へは、寄贈用の車椅子を贈呈し、地域の社会貢献活動へつなげています。

高齢者・障害者雇用の推進

定年延長を視野に、健康で働く意欲のある定年退職者に、「生涯現役」として活躍していただくため、今年度より再雇用制度を大幅に見直し、再雇用者の処遇改善を行いました。

また、障害者の雇用については、全国の支店(11カ所)ごとに法定雇用率(2.0%)の達成を目標に定め、2017年6月1日現在の雇用率は2.09%となっています。

人権問題の啓発活動

人権問題に対する理解を深めるため、従業員への啓発活動を推進しています。今後も研修等を通じ、従業員の意識向上を図っていきます。

従業員教育・研修

当社では、従業員の能力向上、CSRや法令遵守(コンプライアンス)に関する意識の徹底を図るため、従業員教育ならびに各種研修を実施しています。

集合研修として、人事部所管の「本社部門連携研修」「課程研修(階層別研修)」と本社各部門や各支店・管理支社所管の「業務研修(部門別・職種別研修)」との連携をとりながら、効果的かつ効率的な運営を推進しています。

本社部門連携研修では、統括事業所管内の適正かつ円滑な業務運営を図るため、現業部門を抱える統括事業所長に対して、CSRの推進(特にコンプライアンスの徹底)を中心とした「統括事業所長本社部門連携研修」を実施しています。

課程研修(階層別研修)では、新任管理者や各階層の節目

を中心に、管理者、指導・監督者、実務・担当者に対する階層別の集合研修を実施しています。

課程研修(階層別研修)

(1) 管理者研修

- ① 新任課長研修
- ② 新任初級管理者研修

(2) 監督者研修

- ① 管理能力相互啓発研修
- ② 監督者リーダーシップ研修
- ③ 新任監督者研修

(3) 担当者研修

- ① 中堅社員
フォローアップ研修

(4) 新入社員研修

- ① 新入社員研修
(導入・専門教育)
- ② 新入社員研修
(フォローアップ教育)

これらの従業員教育・研修を通じて、CSRの重要性を認識し、日常業務でCSRの確実な実践により企業価値を高めることを目指します。

女性活躍推進

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が成立しました。当社では、女性がより一層活躍できる職場環境を整えるため、2016年度より、「女性社員(総合職・エリア総合職)を毎年10人以上採用する」という目標を掲げ、次のような行動計画を策定し、取り組んでいます。

当社の行動計画

- 「女性積極採用」の実施として、自社ホームページおよび就活ナビサイトへの掲載
- 「女性専用」求人票の配布・掲載
- 技術系女性社員による会社説明会の開催
- 人事給与制度の改定(女性の管理職登用機会の拡大)
- 理工チャレンジ(内閣府男女共同参画局)への参画

▶ 従業員数データ

	2014年度	2015年度	2016年度
従業員数(人)	1,709	1,648	1,525
新入社員数(人)	49	60	58
離職率※(%)	13.9	25.6	13.2
平均勤続年数(年)	18.9	18.3	17.9
障害者雇用率(%)	2.04	2.11	2.00

※入社3年以内の新卒者の離職率



私のCSR

西日本管理支社 秋池 良薫

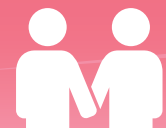
私の従事する西日本管理支社は、支社内の労働時間管理に携わっています。中でも過重労働問題は、毎日のように新聞紙面を賑わせている社会全体の喫緊の課題ですが、当社においても、全社をあげて対応を行っています。当部署はその旗振り役として、各人が業務効率を高め、ライフ・ワーク・バランスのとれた生活を目指して、有給休暇の計画的な取得推進に向けて取り組んでいます。



私のCSR

大阪統括事業所 蜂谷 憲

私は主に南大阪、堺地区の総務担当として業務を行っています。総務業は基本的に座り仕事であり、移動も連絡車を利用するため、運動不足になりがちです。活き活きと業務を行うには健康であることが重要となってくるため、休日等はなるべく身体を動かすようにしています。運動をすることによって身体の調子も良くなるので、今後も続けていきたいと考えています。



社会とのコミュニケーション

災害復旧支援活動

当社は、災害時のインフラ復旧などの重要な役割を社会から期待されていることを深く認識し、長年培ってきた土木技術と全国の事業所網を活かして、地震をはじめとする自然災害が発生した場合には、復旧支援体制を組み、いち早く現場に駆けつけます。

人命救助・消火など緊急車両の通行や人員・援助物資の輸送など、災害時の「道路復旧による通行の確保」は、極めて重要です。当社は、地元自治体等と連携して、全力で道路の復旧にあたり、一日も早い復興を支援します。

事業継続計画（BCP）は国土交通省関東地方整備局（首都圏直下型地震）の他、同省近畿地方整備局からも認定を得ており、今後も訓練等を通じてさらに見直し、充実を図っていきます。

社会貢献活動

■ 未来を担う子どもたちへの支援

当社はJXTGグループの一員として2016年度グループ社会貢献重点テーマである「X（みらい）を担う子どもたちへの支援」に基づき、職業教育としての出張授業、職場見学等を積極的に行ってきました。

2016年度はその一環として、小学校で使用される職業教育教材「おしごと年鑑」、WEBページ「おしごと はくぶつかん」作成に協賛しました。「おしごと年鑑」は全国の小学校に配布され、活用されています。この活動には2017年度も引き続き協賛します。

また、建設業の次代を担う人材の育成を願い、子どもたちを対象とした職場体験、工事現場見学会も積極的に行い、当社事業をアピールしています。



工事現場見学会の様子

スポーツの場面では、プロバスケットボールの試合に当社本社が所在する東京都中央区の子どもたちを招待する取り組みにも協賛しています。約300人の子どもたちが生のプロスポーツに接する機会を設けることができました。子どもたちがスポーツの楽しさ、素晴らしさ感じて成長してくれることを願っています。



プロバスケットボールの試合に協賛

当社はこういった子どもたちのための活動を積極的に応援することが、子どもたちの成長の糧となること、社会の成り立ちと関わりの深い道路建設に携わる当社への理解を深めていただくことにつながっていくことを願っています。

当社のホームページでは「キッズサイト道づくり探検隊!」を設け、クイズなどを通して当社の主力事業である道路建設について楽しく身近に学ぶことができます。

URL <https://www.nippo-c.co.jp/kids/index.html>

また、同サイトに登場する当社のゆるキャラ「ミッチーくん」には自転車ロードレースチーム「チームNIPPO」の応援会場等で会うことができます。



私のCSR

北海道支店 若松 進人

私たちの事業所は、会社のある地域の小学校2校でグラウンド整備と清掃活動に取り組んでおります。毎年運動会に向けて、雪解け後のグラウンドを快適に利用できるよう学校側の希望を踏まえながら実施しております。今後も地域と密着し、子どもたちが安全に活動できるよう継続していききたいと思います。

基本的な考え方

全ての事業の基盤はお客様が住む地域社会にあります。当社では、地域社会とのコミュニケーションの機会を大切にし、災害復旧支援から教育・スポーツ振興まで様々な形で地域社会に貢献していきます。

■ 社会・地域コミュニケーション

当社は子どもたちへの支援とは別に、従来どおりの社会貢献活動を継続的に実施しています。アスファルト合材の販売数量に応じて、売り上げの一部を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付する独自の取り組みを行っているほか、スポーツ、学術・研究をはじめ国際交流等の寄付を通じて、社会の期待に応えています。

また、全国400以上の事業所では、地域の祭礼や町内会・子ども会等の交通安全、防犯活動等のイベントに従業員が積極的に参加するとともに、多くの事業所で、独自の清掃・環境整備活動を自主的に実施しています。

それに加え、2016年度は全社一斉の社会貢献活動を実施しました。国土交通省が定める「道の日（8月10日）」、および当社の創立記念月である2月の年2回、全社一斉道路清掃作業に取り組みました。2017年度も引き続き実施していきます。



一斉清掃活動の様子



「世界の子どもにワクチンを日本委員会」より感謝状を受領

■ スポーツ振興への取り組み

当社は、「ツアー・オブ・ジャパン」「ツール・ド・北海道」「ジャパンカップ」等の自転車ロードレース競技への協賛と「日本舗道レーシングチーム」を前身とする「チームNIPPO」への支援を行い、30年以上に渡って自転車競技の振興をお手伝いしています。同チームは日本企業である当社とイタリアのワインメーカーが共同でスポンサーを務める世界で初めてのプロ自転車チームであり、チームはイタリアに本拠地を置いていますが、スポーツを通しての日伊友好も視野に入れた活動を展開しています。2020年東京オリンピックへの出場、活躍を目指し、日本人選手6人、日本人スタッフ5人が参加しています。2016年の「チームNIPPO」の主な大会成績は、次のとおりです。

ジロ・デ・イタリア	・ 出場（ワイルドカード枠） ・ 山岳賞13日獲得 ・ 山本元喜選手 完走
ツアー・オブ・ジャパン	・ 個人総合ポイント賞
ジャパンカップ	・ ロードレース個人15位
ツール・ド・北海道	・ 第3ステージ区間優勝 総合ポイント賞
2016 リオデジャネイロ・ オリンピック	・ 窪木一茂選手 オムニアム競技に出場 ・ 西勉氏 メカニックスタッフとして参加



ツール・ド・北海道 ステージ優勝時

この他、各種スポーツ大会への協賛、社内運動部として剣道部は各種大会で連続入賞、テニス部は関東実業団リーグで活躍するなど、スポーツ振興に取り組んでいます。



私のCSR

茨城合材工場 高橋 雅栄

茨城合材工場では毎年、社会貢献活動の一環として、地元高校生の工場見学を受け入れています。講師を務めることは我々の勉強にもなり、するどい質問に「ドキッ」とすることも度々…。とても励みになっています。将来我々の後輩となる人材が出てきてくれることを願いつつ、普段なかなか接することのない高校生から若さとパワーをもらっています。